

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ソルティア川口本町 新築工	階数	地上11F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	商業地域、準工業地域、準防火地域	平均居住人員	124 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年6月27日
敷地面積	644 m ²	作成者	市村 光雄
建築面積	308 m ²	確認日	2023年6月27日
延床面積	2,504 m ²	確認者	市村 光雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 特になし	その他 LED照明を採用している。 複層ガラスを採用している。	
Q1 室内環境 カーテン、庇によりグレアを制御している。 全住戸において断熱等性能等級4相当を超える。 建材にはF☆☆☆☆製品をほぼ全面的に採用している。 居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	Q2 サービス性能 10Gbitクラスのプロードバンドが利用可能な計画としている。 劣化対策等級において、等級2相当の計画としている。 維持管理や、仕上材の耐用年数に配慮した計画としている	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 全住戸において断熱等性能等級4相当を超える。	LR2 資源・マテリアル 節水型の水栓金具や、省水型機器を採用している。 壁・天井の大部分でLGS下地を使用することで、躯体と仕上げ材を容易に分別可能とし、また内装材と設備が錯綜しないよう配慮している。	LR3 敷地外環境 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の一部を満たしており、また広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)ソルティア川口本町 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		全体	
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質							3.4
Q1 室内環境			0.40				3.8
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能			-	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	3.0	0.20		
1.3 吸音			-		-		
2 温熱環境		2.6	0.35	4.4	1.00		4.1
2.1 室温制御		3.0	0.50	5.0	0.71		
1 室温		3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能	全住戸において断熱等性能等級4相当を超える。	3.0	0.38	5.0	1.00		
3 ゾーン別制御性			-		-		
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.29		
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境		3.5	0.25	3.3	1.00		3.3
3.1 屋光利用		3.0	0.30	3.0	0.30		
1 屋光率		3.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口			-	3.0	0.30		
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30		
1 屋光制御	カーテン、庇によりグレアを制御している。	3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御	共用部:自動照明制御ができる。	5.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境		4.2	0.25	4.5	1.00		4.4
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63		
1 化学汚染物質	建材にはF☆☆☆☆製品ほぼ全面的に採用している。CH20以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用している。	5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能	居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。		-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理			-		-		
1 CO ₂ の監視			-		-		
2 喫煙の制御			-		-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-		3.5
1 機能性		3.0	0.40	4.2	1.00		4.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性			-		-		
2 高度情報通信設備対応	各住戸は10Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な計画としている。		-	5.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観			-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース			-		-		
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30		-		3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数	性能評価の劣化対策等級において、等級2相当の計画としている。	4.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		3.0	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり		-	-	3.6	0.50	
1 階高のゆとり	過半の住戸において、階高を2.9m以上、3.0m未満としている。	-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制	全住戸において断熱等性能等級4相当を超える。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.91	3.9	0.50	-	-	3.9
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型の水栓金具や、省水型機器を採用している。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル系床材	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	壁・天井の大部分でLGS下地を使用している。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率86%。	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの一部項目を満たしている。広告物照明を行っていない。	4.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)ソルティア川口本町 新築	BEE	1.5	BEEランク	★★★★
------	------------------	-----	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.5	+	2.3	=	5.8 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
ライフサイクルCO ₂ 排出率86%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

 :入力欄